

大好きな畑

柏崎小学校 四年 杉森 斗弥

「どっちの道に行こうかな。お花の方にしようかな。それとも野菜の方にしようかな」

ぼくのおじいちゃんとおばあちゃんの家の前には、とても広い畑があります。毎年夏になると、畑は緑でいっぱいになります。ナスやピーマン、パプリカ、ミニトマト、インゲン、えだ豆、じゃがいも、きゅうり、ほうれん草など、たくさん野菜を育てています。それから、野菜の他に、ヒマワリやアジサイなどの花を植えている畑もあって、ぼくの知らない花もたくさんあります。その中で、赤やピンクや黄色のカラフルな花が特にきれいだったので、おばあちゃんに聞いてみたら、

「それは百日草っていう花だよ。おぼんのとっておはかまいりに持つていこうね。」

と、花の名前を教えてくださいました。そのときから、百日草がぼくのお気に入りの花になりました。

畑の中の細い道を歩いていると、分かれ道がいくつかあって、めい路みたいになっていくところがとても楽しいです。ピーマンの方に行こうかミニトマトの方に行こうか、ぼくの好きな百日草の方に行こうか、たんけんしながらめい路を進んで行きます。畑には虫もたくさんいます。ナスやピーマンにはテントウムシがよくい

るし、ときどきカマキリを見つけれられることもあります。

「農薬を使っていないから虫がたくさんいるんだよ。」

と、おじいちゃんが教えてくれました。ぼくは大好きなトンボもたくさん飛んでいて、運がよければオニヤンマがすごいスピードで飛んでいくのを見られることもあります。ぼくは、おじいちゃんとおばあちゃんの家遊びに行くと、家の中よりも畑にいることの方が多くいます。畑には、それくらい楽しいことがいっぱいあります。

でも、野菜のしゅうかくを手伝うときは、少したいへんなこともあります。きゅうりやえだ豆などは、はさみで切るだけで実をしゅうかくできるけれど、じゃがいもは土をほり起こさなくてははいけません。じゃがいもを土から出したあと、日かげに運んでかんそうさせないとくさってしまうそうです。たくさんじゃがいもをほるのは、おじいちゃんとおばあちゃんだけではたいへんなので、ぼくやお姉ちゃんも手伝っています。そうすると、おじいちゃんもおばあちゃんもとてもよろこんでくれるので、ぼくもうれしい気持ちになります。

畑でとれた野菜は、どれもとてもおいしいです。だから、ぼくにはきれいな野菜がありません。めい路で遊べて、虫取りもできて、野菜の

好ききらいもなくなる畑は、ぼくにとってまるでテーマパークみたいな場所です。